

せら脱温暖化フォーラム

「笑い」で招くエコへの関心  
とんちの利いた大喜利 好評



世羅町長も参加して大喜利を披露。とんちを利かせた回答に会場から拍手が上がる

「第三回脱温暖化せらのまちづくりフォーラム」が、七月一日、甲山農村環境改善センターで開催され、町民約二百人が参集した。このフォーラムは、主催した脱温暖化プロジェクトせらが活動の実践状況を報告するとともに、温暖化防止に向けた町民の意識向上を目指して開催された。今回は、堅苦しい勉強会ではなく、関心を持って参加してもらうことを重視して「笑い」をテーマに、三部構成で行った。



環境活動について説明しながらユーモアを交えて会場を沸かせる桂文喬氏

第一部の講演には、吉本興業所属の落語家、環境省委嘱の3R推進マイスターでもある桂文喬(かつらぶんぎょう)氏を招いた。プロならではのユーモアを交えたトークで会場の笑いを誘いながら、環境を守るためのコツや脳を活性化させるポイントなどが紹介された。

みんなの助っ人！  
**環境**  
カウンセラー

【登録年度】平成23年度・市民部門  
【専門分野】森林環境学習、森林による環境保全、林業による環境保全  
【活動エリア】広島県内全域

楽しみながら森林学習  
全国で講師を務める

庄原市にあるアサヒの森林環境保全事務所に勤務する傍ら、三次市の地球温暖化対策地域協議会「布野の食と脱温暖化を考える会」に所属し、積極的に活動している中村さんに、これまでの取り組みや環境カウンセラーとしての思いについて語ってもらった。

ア休暇を利用してロンドン郊外で森林保全活動を体験した際に共感した、楽しみながら自然に活動している姿勢です。◆カウンセラーになっただけの父の代から実家が林業を営んでおり、幼い時から自然に馴染んでいました。学生時代、校医でもあった先生から環境の大切さを学んだことが、環境に関心を持つきっかけになりました。

◆これから住民と一緒に取り組みたいこと  
環境カウンセラーになった



地元の小学校で森林環境学習を行う中村さん

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会は、発足した平成17年からアイドリングストップ事業に継続して取り組んでいる。大崎上島町といえば、県内で唯一橋がかかっている島。このため、フェリー乗り場が島の玄関口となっている。こうした島ならではの特性を活かしながら、脱温暖化の島づくりを目指す取り組みとしてスタートさせた。

TEAM  
地域 エコ アクション ミーティング  
**最前線 2**  
①大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

第1回目の7月1日は、濃霧のため7時台のフェリーが欠航するハプニングがあったものの、商船高等専門学校生徒4名と一緒に、約70台を対象に実施。アイドリングストップへの協力を呼び掛ける際のポイントは、「決して『エンジンを止めてください』とは言わず、『止めていただくよう、ご協力をお願いします』と笑顔で言うこと。また、頭を下げたり、笑顔を絶やさず呼び掛けると、自然と協力者も増える」と、同協議会の梅澤恵子会長は言う。



東野小学校と合同でアイドリングストップの呼び掛け

第2回目の7月9日には、東野小学校の6年生7人が挑戦。アンケート回答者には、アイドリングストップの効果を感じた同協議会オリジナルのうちわを配布した。今後は、「エコネットたけはら」と合同で対岸でも実施するほか、メディアを通じた活動のPRやスーパーの駐車場で呼び掛け、11～3月の寒い時期にも同様の事業を実施する予定。脱温暖化の島づくりを目指したさらなる活動が楽しみだ。(脱温暖化センターひろしま)

水質検査のご案内  
井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ

検査 → 適合 → 不適合 → 相談 → 問題解決 → 再検査

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください ☎ 082-293-0163

広島県では、一年に1回水質検査を行うことを推奨しています。

HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION  
広島県環境保健協会  
(水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関)  
広島市中区広瀬北町9番1号